

宗谷線・石北線の運転再開見込みについて

(名寄～稚内間) (上川～北見間)

12月24日(土) / 21:00現在

強い冬型の気圧配置の影響により、12月24日現在、宗谷線音威子府駅周辺で約170cm、石北線白滝駅周辺で約130cmの積雪状況です。現在、機械除雪や人力除雪を懸命におこなっておりますが、積雪量が多く、湿性の重たい雪でもあり、そして今後も更なる降雪が予想されています。

そのため、除雪作業に時間を要すことから、少なくとも12月27日まで運転再開は困難であり、それ以降の見込みも立っておりません。

今後の運転計画は決まり次第あらためてお知らせいたします。引き続き懸命に除雪作業に取り組み、早期復旧に尽力してまいります。

ご利用のお客様にはご不便をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

- お出かけ前にJR北海道ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

北海道旅客鉄道株式会社

【宗谷線・石北線の除雪作業進捗状況】



宗谷線 音威子府～佐久間 積雪状況
(12月24日)



宗谷線 日進～智恵文間 倒木による線路支障
(12月24日)

●宗谷線 音威子府駅構内



●石北線 白滝駅構内



鉄道の除雪作業



当社では、北海道の厳しい気象条件の下で、鉄道の安全を確保するためにさまざまな対策を行っています。冬期においては、きめ細かな線路の除排雪などを行わないと、列車脱線など大きな事故につながる恐れがあるため、多くの人手をかけ除排雪作業などを行い、安全の確保に取り組んでいます。

除雪作業の内容

降雪量も多く厳寒地である北海道では、排雪モーターカーなどの機械設備による除雪作業などのほかに、人力によるさまざまな作業を行わなければ、冬期の安全な運行を確保できません。全道各地の駅構内では、一日あたり1,100人の除雪係員が、昼夜を問わず除排雪作業を実施しています。



除雪作業の様子を動画でご覧になれます
(当社公式YouTube)

機械除雪	人力除雪
駅間および駅構内	主に駅構内(機械除雪が難しい箇所)
排雪列車:13両 除雪機械:128台	1日当たり約1,100人

機械除雪

線路上に積もった雪は、排雪列車や除雪機械を使用して取り除いています。

■雪を押し除けるタイプ(排雪列車・排雪モーターカー等)

先頭部に装着したラッセル装置により、線路上の雪を押し除けていきます。主に駅間の除雪に活用しています。



排雪列車
(DE15形)



排雪モーターカー

■雪を飛ばすタイプ(排雪モーターカーロータリー等)

ロータリー装置により、積もった雪を遠くに飛ばすことで除雪作業を行っています。駅間のほか、駅構内の除雪にも活用しています。



排雪モーターカーロータリー



大型除雪機械(ENR-1000)
※押し除けることも、飛ばすことも可能なタイプ

人力除雪

駅構内には設備配置の都合上、機械での除雪ができない箇所があるため、人力での除雪を行います。

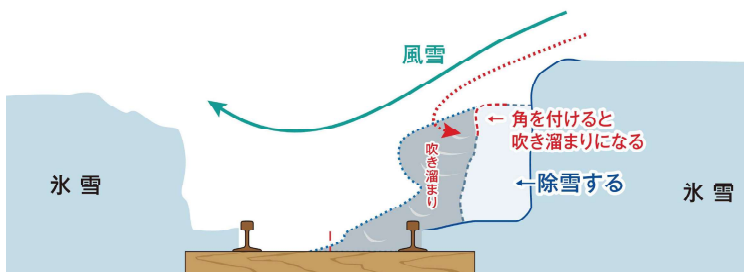
■ポイント除雪

列車の進路を切り替えるポイントには多くの機器があるため、手作業により雪を取り除きます。ポイントが切り替わらなくなると(ポイント不転換)、列車が駅に進入・進出できなくなることや、使用できる線路が制限されてしまうことに繋がり、輸送障害の原因となります。そのため、ポイント周りは常に除雪された状態になるよう、入念に作業を実施しています。



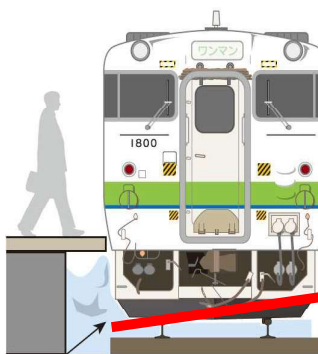
■側雪(がわゆき)除雪

冬期には線路脇に壁のような積雪がよく見受けられます。当社ではこの積雪を側雪(がわゆき)と呼んでいます。側雪は、列車や除雪機械の走行で押しつけられた雪や線路周辺の除雪作業によって線路脇へ排雪された雪が溜まっていくことで発生します。通常、日照や気温の上昇により側雪は次第に融けていきますが、積雪多量により側雪が増えていくと吹き溜まりの原因となるため、運行に影響を及ぼす恐れがあります。そのため、側雪はなるべく取り除き、積雪を平面化する必要があります。側雪は、主に人力で除雪を行っています。



■ホーム下除雪

列車の走行で雪が押され、駅のホーム下に溜まっていきます。ホーム下が雪で埋まると、その後列車が持ち込んだ雪の逃げ場がなくなることで列車の前に溜まりやすくなり、最後には列車が動けなくなることがあります。そのため、ホーム下が雪で埋もれてしまう前に除雪作業を実施する必要があります。



■高架除雪

高架区間の積雪は、民家や道路があるため除雪機械などによって高架下に飛ばすことはできません。そのため高架区間の除雪作業は、高架橋に設置された「投雪口」と呼ばれる穴から雪を人力で高架下に落とし、そこからダンプカー等で雪捨て場まで運びます。

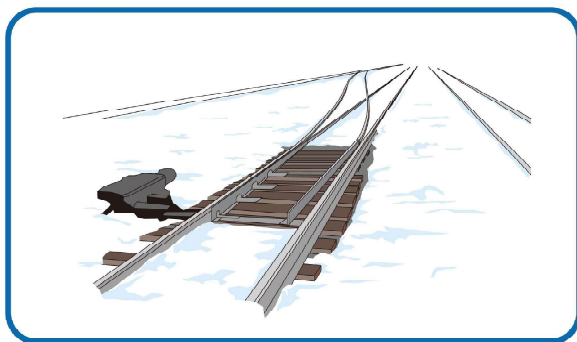


予防除雪（降雪前の除雪作業）

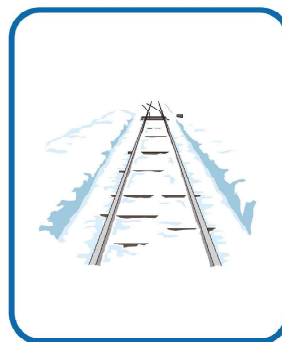
通常の除雪は、雪が降ってから積もった雪を支障のない程度に除けるものですが、当社では、好天続きなどで積雪の少ない時であっても、「予防除雪」と呼ばれる降雪前の除雪作業を実施しています。降った雪を片付けるのではなく、降っても耐えられる状態にすることが予防除雪の目的です。その時点で列車の運行には支障がない積雪状況であっても、「予防除雪」を実施することにより広い範囲の除雪や雪捨て場の確保などを実施することができ、急な大雪があっても即座に輸送障害に繋がらない、といった効果を期待できます。



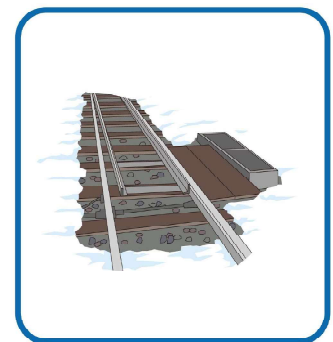
側雪処理、平面化



範囲の拡大



枕木が見える程度
(10cm程度)



- ◎ 側雪処理・平面化
日々の除雪で堆積された側雪を平面化することで、吹き溜まりを防止します。
- ◎ 除雪範囲の拡大
ポイント部分よりも広い範囲を除雪することで、列車が持ち込んだ雪の逃げ場を確保します。
- ◎ 枕木が見える程度の除雪
線路内の積雪を10cm程度除雪することで、降雪によるポイント不転換を防止します。